

令和6年度 大田区立矢口小学校 学校経営デザイン

校長 井上光広

おおた教育ビジョン「笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育てます」
 基本方針1 持続可能な社会を創り出すグローバル人材を育成します
 基本方針2 誰一人取り残さず、子どもの可能性を最大限に引き出します
 基本方針3 すべての区民が未来を担う子どもを育て、ともに学び続けます

本校の学校教育目標
「よ・い・こ」の目標の徹底
 ◎ よく考え、すすんで学習する子ども
 ◎ いつも元気で、じょうぶな子ども
 ◎ ところ豊かで、やさしい子ども

目指す学校像
 ①未来の社会に貢献できる児童を育成する学校
 ②児童の意欲を引き出す学校
 ③安全で安心できる学校
 ④保護者や地域に信頼される学校

令和6年度の重点目標
 ◎コミュニティスクール制度を導入する(9月予定)
 ◎教科「おおたの未来づくり」の教育課程特例校申請
 ◎体力の向上と健康の増進
 ◎人権意識やコミュニケーション能力の向上
 ◎未来型授業(GIGAスクール構想)の開拓
 ◎伝統文化芸術教育としての「俳句」指導
 ◎総合芸術発表の場としての「矢口文化芸術展」
 ◎欠席児童0名の達成

目指す児童像
 ◎学校精神「矢口魂」の意味を深め、日常的に実践することも
 ◎「何のため」を常に自分に投げ掛け、自問自答し、向上心に満ちた子ども
 ◎学校教育目標を意識し、ともに高め合う子ども

目指す教師像
 ☆教師は最高の教育環境、太陽のような存在
 ①服務の厳正
 ②人権尊重意識の高い教師
 ③プロ教師の自覚と児童の意欲を引き出す力
 ④子どもへの愛情、子どもの成長を喜ぶ心
 ⑤社会人としての常識ある人
 ⑥チーム矢口の意識
 ⑦地域や保護者と連携、信頼される教師

目標実現のための具体的方策 ◎の項目は特に重視

<p>学習指導 ◎確かな学力、基礎基本の定着 ◎教科「おおたの未来づくり」による探究学習と地域愛の育成 ◎アウトプットを意識した学習指導 ◎企業連携、大学等との連携、外部協力者との連携 ◎Society5.0時代に対応できる主体的・対話的で深い学びの実現 ◎大田区ステップ学習、東京ペインックドリルを活用した計算・漢字能力育成 ◎デジタル教材の活用 ◎読み聞かせや読書指導の充実 ◎俳句、川柳、短歌、百人一首などの伝統的言語文化指導</p>	<p>◎総合芸術発表の場としての矢口文化芸術展 ◎少人数算数の推進 ◎教科担任制 ◎矢口農園をはじめとする学校環境の活用 ◎ICT活用(タブレットPC、プログラミング) ◎外国語専門講師による外国語教育の推進 ◎理科教育の推進、専門指導員との連携 ◎家庭学習の定着 ◎個人面談の実施</p>	<p>◎運動の日常化、習慣化による体力向上 ◎縄跳びに焦点化した運動の実施→児童の運動に対する自信をつける ◎チャレンジタイムの充実 ◎自己健康衛生管理能力の育成 ◎大田区小学校駅伝大会 ◎学校医との連携による健康教育 ◎欠席児童0名の日を達成する。</p>
<p>生活指導 ◎相手を思いやる行動、人間性の育成 ◎道徳教育の充実 ◎「あいさつ、返事、はじめ」の指導 「あいさつ日本一」の継続 ◎思いやりの心情を育むコミュニケーション指導 ◎「人権標語・ポスター・習字・川柳」を通した人権尊重教育 ◎矢口スタンダードを基にした規範意識 ◎ノーチャイムによる時間厳守意識 ◎「こどもの心サポート月間(6, 11月)」 ◎大田区いじめ対策条例に基づく組織的対応、不登校防止対応(欠席0名の達成へ向けて) ◎「早寝・早起き・朝ご飯」運動</p>	<p>特別活動 ◎異学年交流(なかよし班・委員会活動・クラブ活動) ◎全校的意識を高める指導(朝会あいさつ・委員会活動など) ◎勤労奉仕的活動(地域清掃など) ◎学習内容とリンクした校外学習 ◎長期的育成計画に則った学校行事指導 ◎児童相互に学び合える学級経営 ◎キャリアパスポートの活用</p>	<p>特別支援教育 ◎すべての児童は個性に応じて支援が必要であるという指導観 ◎個の実態に応じた指導 ◎合理的配慮と関係機関連強化 ◎人的・物的支援体制の強化 ◎特別支援教育に関する教員の指導力向上 ◎支援の必要な児童への居場所作り</p>
<p>地域・外部機関連携 ◎学校広報(学校便り「薫泉」・ウェブサイトなど)による理解者・支援者拡大 ◎保護者との密接な連絡・相談(個人面談の充実) ◎PTAとの連携・協働(0から1を作り出す活動) ◎復活する地域行事への参加、商店街のサンデーバザールやタ市への児童の参加 ◎非常時の敏速な対応 ◎避難所機能の向上 ◎学校評価の効果的な活用 ◎やぐち応援隊(学校支援地域本部)との協働、サマーワークの充実 ◎副籍交流や幼保連携 ◎外部関係機関との総合連携強化</p>	<p>学校運営 ◎職員の実態に合わせた働き方改革 ◎校内研究、校内研修、OJTの推進 ◎学年、学級、専科経営の充実 ◎危機管理の徹底 ◎服務事故「0」を順守</p>	<p>◎2028年に創立150周年へ移行する課題の取組</p>

